

## 米アマゾン、家庭用防犯カメラ「ブリンク」買収

2017年12月23日 4:44

【シリコンバレー=佐藤浩実】米アマゾン・ドット・コムは22日までにインターネットにつながる家庭用の防犯カメラやドアベルを手がける米スタートアップ企業のブリンク（マサチューセッツ州）を買収した。人工知能（AI）スピーカー「エコー」などスマートホームと呼ばれる分野の品ぞろえを増やす。アマゾンが11月に始めた不在時に室内に配達するサービスとの連携も見込まれる。

ブリンクが22日発表した。同社は一般から広く資金を集める「キックスターター」を通じて生まれた防犯カメラのスタートアップ。設置場所の様子をスマートフォンで確認できる手軽なカメラを99ドル（約1万1000円）から販売しており、2016年1月の発売から今までに25万個以上を出荷したという。アマゾン経由でも販売しており、エコーを使って声で操作することもできた。



ブリンクの防犯カメラ

ブリンクは「アマゾン傘下で偉大な製品の販売とサポートを続ける」との声明を出した。買収額は明らかにしていない。

アマゾンは11月、購入者の不在時でも配達員が家の鍵を開け、室内に荷物を届けるサービスを米国で始めた。今後はブリンクの防犯カメラとこうしたサービスとの連携が予想される。スマートホームに関わる製品はグーグル傘下のネスト・ラボも手がけており、両社の家庭内での陣取り合戦も激しくなりそうだ。

本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は、日本経済新聞社またはその情報提供者に帰属します。また、本サービスに掲載の記事・写真等の無断複製・転載を禁じます。

**NIKKEI** No reproduction without permission.